

2014
近畿大学アンチエイジングセンター
第9回 市民公開講座

住環境と アンチエイジング

受講料
無料!
定員 200人
先着順

日時

9月27日(土) 14:00開演 (13:30より受付開始)

会場

近畿大学 東大阪キャンパス 39号館2階(201教室)

講演1

住宅の省エネ性と健康長寿の関係
～人と地球に優しい住まい～

14:00～
15:00

[講師] 近畿大学 建築学部 建築学科 教授 岩前 篤

講演2

最後まで自宅で生活するための住宅改修

15:15～
16:15

[講師] 近畿大学 建築学部 建築学科 准教授 山口 健太郎

お申し込み・お問い合わせ先

近畿大学アンチエイジングセンター
〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1
<http://www.kindai.ac.jp/antiaging/>

TEL (06) 4307-3097

FAX (06) 6729-3577

E-mail antiaging@itp.kindai.ac.jp



近畿大学
KINKI UNIVERSITY

近畿大学アンチエイジングセンターでは、少子高齢化が進むわが国において、国民の第一の財産である健康を守り、健康寿命を延ばし、生き生きとした社会を創るための活動を行っています。

講演 1

14:00~
15:00



住宅の省エネ性と健康長寿の関係 ～人と地球に優しい住まい～

【講師】近畿大学 建築学部 建築学科 教授 **岩前 篤**

今春、国土交通省は340億円の予算の元、「スマートウェルネス住宅」の普及促進を始めました。少子高齢化対応社会に備える住まいづくりが主目的ですが、この中で、住宅の健康維持増進が大きなテーマとなっています。本講演では、この大きな動きの元になった、数年前に実施された住まいの健康性に関する調査の概要と結果を海外の状況を交えてお話しします。

プロフィール
1986年 神戸大学大学院修了、4月より積水ハウス(株)入社、試験研究所に配属
2003年 同 退社、4月より近畿大学理工学部建築学科に助教授として就任
2009年 同 教授
2011年 建築学部創設と共に、学部長就任、現在に至る

主な著書
日本プレハブ新聞発行『必見よく分かる住まいづくり』
星雲社、2014年5月、など

講演 2

15:15~
16:15



最後まで自宅で生活するための住宅改修

【講師】近畿大学 建築学部 建築学科 准教授 **山口 健太郎**

老化には脳卒中モデル、廃用症候群モデル、認知症モデルの3つのプロセスがあります。病気が主な原因になりますが、中には「転倒」などの住宅内事故に起因する場合も少なくありません。また、高齢者の心身機能に対応していない住環境は老化の速度を速めます。生き生きと自分らしく自宅で生活を行うためには、適切な住宅改修が必要です。今回は、体の動きについての解説を行った上で、住宅改修の際に留意すべきポイントについて説明していきます。

プロフィール
2008年～ 近畿大学理工学部 講師
2011年～ 近畿大学建築学部 准教授
博士(工学)、一級建築士

主な著書
『新訂版 高齢者福祉施設建設マニュアル 生活視点の高齢者施設』(分担)中央法規出版
『福祉住環境コーディネーター検定試験1級 公式テキスト』(分担)東京商工会議所
『認知症ケア環境事典』(分担)ワールドプランニング
『実践事例から読み解くサービス付き高齢者向け住宅』(分担)中央法規出版

お申し込み方法

近畿大学アンチエイジングセンター

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
<http://www.kindai.ac.jp/antiaging/>

住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・FAX番号を明記の上、下記の申し込み先にE-mailまたはFAXのいずれかにてお送りください。

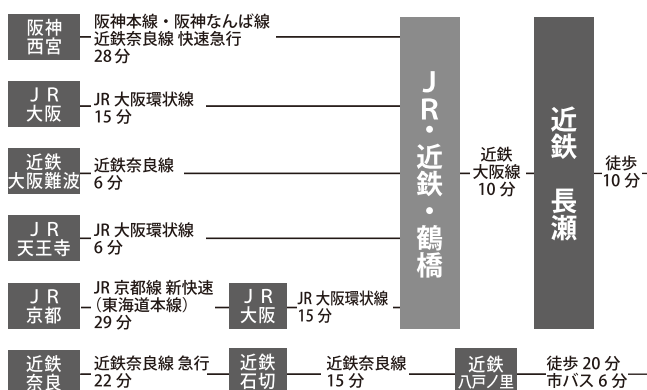
*ご応募頂いた皆様の個人情報は、近畿大学公開講座のご連絡のみに使用いたします。

TEL (06) 4307-3097

FAX (06) 6729-3577

E-mail antiaging@itp.kindai.ac.jp

■電車乗り換え案内 <各主要駅からの経路・所要時間(目安)>



■近鉄大阪線「長瀬駅」からのアクセス

